闘技王 キングコロッサス

●セガ／6月26日発売／5,800円／ARPG／8M＋B・B

本格的剣技アクション！

現在もヤングジャンプで好評連載中のコミック「孔雀王」の作者である、あの荻野真さんが総合プロデュースをするという「キングコロッサス」が、とうとう完成間近となった。画面写真を紹介するのは今回が初めてだが、昨年に本誌で同名の小説を2回にわたって発表したので、このゲームの世界観や設定はまだ記憶に新しい読者も多いことと思う。

ちなみに、ストーリーやキャラクター設定などは、すべて荻野真さんがデザインしたものがベースになっている。それゆえか、各イベントのつながり、物語の展開にはなかなか奥の深いものがあり、さすがはコミックライターといった感じだ。

さて、ようやく姿を現したこの「キングコロッサス」。基本システムは、A、B、Cボタンで魔法、武器攻撃、ジャンプを駆使しつつ、画面上の敵と闘いぬくアクションRPGになっている。そのへんは某スーファミのゼルダに近いといえばわかるだろうか？

画面はプレイヤーを後方斜め上から見下ろすタイプで、各所にはトラップや謎が隠されており、戦略性の高い攻略が楽しめそうだ。

メガドライブにはただでさえRPGが少ないうえに、アクションRPGとなると数えるほどしかない状況だったけど、この作品のおかげで少しは活性化するのではないだろうか。

戦闘グラフィックや広いだけのマップなどに凝って、RPGでいちばん大切なはずのシナリオをなおざりにしたものが多い昨今、「キングコロッサス」のようなストーリーに力を注いでいる作品にはとくに期待したいところだ。



タイトル画面もできて、あとは完成を待つばかり。アクションRPGファンは期待だ。



水をくみに「迷いの森」へ入った主人公は、邪悪な生物をけちらしながら進んでいくのだ。



仰々しく武装してきたのに、あっさり門前払いをくらった。いったい「しもべのしるし」ってなんのこと？



いつでも主人公をいたわってくれる優しいお姉さん。無傷のときでも思わず立ち寄りたくなってしまう。



この世界は6つの国に分かれている。舞台はおもに闘技場やダンジョンだ。



主人公を育てあげた老人は、やたらと苛酷な試練を与えてくれる。



いくつもの部屋が連なって構成されているダンジョン。奥にはもちろん巨大な敵が……。

『BEEP! メガドライブ』1992年6月号掲載

闘技王キングコロッサス

セガ／6月26日発売／5,800円／A・RPG／8M、B・3

完成度ゲージ 100%　1人プレイのみ

あの荻野真が総合プロデュースしたアクションRPG



シナリオはしっかり、アクション性もバッチリの大巨編なのだ

ヤングジャンプなどで活躍中の、人気漫画家荻野真（おぎのまこと）氏が、キャラクターデザインなど総合プロデュースを手がけたアクションＲＰＧ巨編、それが「闘技王キングコロッサス」だ。荻野氏が担当したということで、シナリオもたいへんよく練（ね）られている。自分の出生のことすら知らない、みじめな境遇（きょうぐう）の主人公が、数奇（すうき）な運命に翻弄（ほんろう）されながらも、徐々に力強く成長していくようすは、まるで人気コミックのようなストーリー展開で目が離せないぞ。

しっかりしたシナリオとともに、このゲームを支えているのは、そのアクション性の高さ。このタイプのA・RPGではあまりお目にかからない、ジャンプ操作が加えられている。そのため、正確に幅跳（はばと）びをしなければ行くことのできない場所があったり、ジャンプしながら剣を出すことによって攻撃力が上がったりするなど、アクションプレイの幅がグンと広がっているのだ。アクション部分もＲＰＧ部分もリキの入ったA・ＲＰＧってとこかな。



27種類も用意された多彩な武器などを冒険中に手に入れ、強くなっていく主人公。魔法も使える。



このタイプのA・RPGにしては珍しく、ジャンプすることができる。よりアクション性が高まった。

辛く苦しい冒険のなかで、少年は自分自身を探していく

QUEST1……………南西の洞窟

自分がどうしてここに住んでいるのか、それさえ知らない境遇の主人公。わかっているのは、右手の甲に不思議な紋章（もんしょう）が押されていることと、老人に育てられたこと、そして姉がいるということだけだ。

そんな疑問を抱（いだ）くヒマもない毎日を、主人公の少年は送っている。老人の言いつけに従って、危険なところを冒険するのが彼の日課だ。また今日も老人に呼びつけられ、昔、彼が盗まれたという鉄の剣を取り返しに、盗賊の住む南西の洞窟（どうくつ）へ行くことになった。洞窟には邪悪な力を持った生物が住んでおり、たいへん危険ではあるが、口答えでもしようものなら、老人から辛（つら）い仕打（しう）ちを受けなければならない。たよりない装備で、少年は南西の洞窟へ入って行くことにした……。



全体マップ。目的地をカーソルで選ぶと、画面はゲームフィールドに変わる。



どなりつけるだけが能のじいさんと……

やたらどなってばかりのジジイ。主人公の育ての親だが、愛情のかけらもないようだ。



巨人の星に出てくるような影で見守る姉さん

主人公を影で励ます、星明子的な姉。ジジイに口止めされており、多くを語らない。



いったいオレは何者なんだああ あ～～～～～っ!?

わけのわからぬまま少年は旅立つ……



洞窟の奥深くに、盗賊のザッカルがいた。泉の半魚人を倒せば、鉄の剣を返すと言う。



迷路状の洞窟は、爆弾などの道具がないと進めないところも。爆弾は敵を倒すと手に入る。



泉に住む半魚人を倒すのだ!!

ザッカルに会ったあとで泉を訪れると、半魚人が出現する。すぐ水中に隠れてしまうので、攻撃しにくい。オーラシールドの魔法でバリアを張れば、敵弾を気にせず攻撃できて、効率がいいぞ。

『BEEP! メガドライブ』1992 年 7 月号掲載

QUEST2……………ガナントのほこら

南西の洞窟で無事に半魚人を倒し、盗賊ザッカルにふたたび会うと、約束どおり、鉄の剣を返してくれた。そうそう、そのとき、ザッカルは少年の右手の紋章を見て、なにか言いかけてやめたのだ。やはり、紋章には秘密があるらしい。さて、少年は剣を持って、老人の待つ小屋に帰った。すると老人はそれを見て、さびているとイチャモンをつけはじめたのだ。南のほこらにガナントという腕のいい鍛冶屋(かじや)がいるから、さっさと直してもらってこいだって。ひとことぐらいお礼を言ってもよさそうなもんだけどなあ……。

ガナントのほこらの入口には、１人の男性が立っていて、ガナントがどこかに隠れてしまったと途方にくれている。なんとか探し出せるだろうと侵入してみると、南西の洞窟よりも危険な敵でいっぱいだ。おまけにガナントらしき人物は、けっこうスグに発見することができたが、なんと彼がいる部屋は入り口がないのだ。いったいどうすれば、彼に会うことができるのだろうか。



老人の次なる言いつけは、さびた剣を修理してもらってくることだ。



ほこらの入り口に立っている男の情報では、ガナントはどこかに隠れてしまったらしい。



ガナントらしい人物はスグに見ることができるのだが、なんとこの部屋には入り口がない。どうすればいいの。



ガナントを探す男がここにも１人。彼を花の怪物から助け出すと、ガナントの娘のネックレスをくれるのだ。どうやらガナントは、娘を誰かに誘拐されて、悲しみにくれているらしいぞ。


南西の洞窟では水に飛び込むと、隠し部屋へ行くことができる。ここでも、床の穴にワザと落ちてみると、新しい展開があるかもしれないね。とりあえず、落ちても死なないのでご安心を。

QUEST3………………グリュードの塔

上の記事にさりげなく書かれたヒントを頼(たよ)りに、ガナントのいる部屋にたどり着き、娘のネックレスを見せると、彼は娘を助けてほしいと泣きついてきた。なんでも、邪神教(じゃしんきょう)の教祖に、いけにえとしてさらわれてしまったらしい。お礼になんでもするからと言うので、鉄の剣を彼に預(あず)け、とりあえず老人の小屋へ帰って状況を報告することにした。

まだ剣は直らないのか／と、どなることが予想された老人は、意外にもガナントの娘を助けに行くことに協力的で、邪神教の総本山(そうほんざん)であるグリュードの塔に入るための、しもべのしるしというアイテムまで用意してくれた。いいとこもあるじゃん。

で、グリュードの塔へ行くと、入り口に立っていた信者が、もうすぐいけにえの儀式(ぎしき)がはじまるから急げと言う。こりゃたいへんだ。しかし塔のなかには、さらに強い魔物がウジャウジャ。信者たちは、魔物に攻撃されても平気なのだろうか。その信者たちは、ホールに集まって儀式のはじまるのを待っていた…。



ガナントの娘は、邪神教の教祖にさらわれていた。助けにいこうぜ。



御堂に集まって、儀式が始まるのを待つ、邪神教の信者たち。怪しいなあ。そのなかにひとり、少年の紋章の秘密を知っているヤツがいる。話を聞こう。



像をある位置に動かせば、祭壇の扉が開く。その位置は司祭がなにかにメモしているぞ。



祭壇に捧げられているいけにえは、ガナントの娘ではないか／ 一刻も早く救出したいところだが、邪魔が入る。

QUESTはまだまだ続く

ガナントの娘を救出して、ガナントのほこらに帰ると、修理ずみの鉄の剣を受け取ることができた。それを持って老人の小屋へ帰ると、ジジイはなにやら感慨(かんがい)深げに、お前の力をためすときが来たようじゃなどとつぶやく。どうやら、この迷いの森の冒険が、ジジイの最後の言いつけになりそうだ。

そのあと、少年は紋章の秘密を知り、さらに自分の出生の秘密を探るために、冒険を続けていくのである。


老人が少年の力を試すために選んだのは、迷いの森だった。ここでは落し穴などのトラップに、苦労することだろう。

開発者さんからひとこと

キングコロッサス、通称『㊎コロ』を担当しました「つっちー」です。音関係も気合い入れてます。で、お値段はというと、5,800円とお安くなって(安けりゃいいってもんか？)ますので、ひとつよろしく／ PS：『㊎コロ』は使用上の注意をよく読んでお試し下さい。